※令和４年度以降入学生用

学校番号	3029

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理総合	単位数	2 単位	年次	2 年次前期
使用教科書	「地理総合　世界に学び地域へつなぐ」（二宮書店） 「新詳高等地図」（帝国書院）						
副教材等	「新編　地理資料　2025　」（とうほう）「新地理要点ノート」（啓隆社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

地理を一言で言うと、「地表空間における特定地域の自然、人文の諸事情を総合的に把握し、地域的特色を明らかにしようとする学問」です。

もう少し簡単に言うと「広い地球上で、なぜ、そこにあるのか？なぜ、そこで起きているのか？」を考える学問です。「地理は暗記もの」と思っている人も多いと思いますが、実は、「ものごとが起きるしくみ」を学ぶ教科です。

もちろん、対象は地表なので、地図を使うことは必須です。地図で確認しながら自分の頭の中に自分だけのマップを作ってみましょう。

2　学習の到達目標

社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ，課題を追究したり解決したりする活動を通して，広い視野に立ち，グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	知識：地理に関わる諸事象に関して，世界の生活文化の多様性や，防災，地域や地球的課題への取組などを理解する。 技能：地図や地理情報システムなどを用いて，調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	地理に関わる事象の意味や意義，特色や相互の関連を，位置や分布，場所，人間と自然環境との相互依存関係，空間的相互依存作用，地域などに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の国土に対する愛情，世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期中間考査まで	産業と生活文化	■　農業の発展と生活文化 ■　工業の発展と生活文化 ■　サービス業の発展と生活文化	a: 世界の視野からみた産業の特徴と分布を概観できたか。主題図や写真，グラフ，統計資料から世界の産業の分布と発達を捉えることができたか。 b: 自然環境が産業の形成に関わっていることを、資料をもとに考察できたか。世界の産業の変化をグローバル化の観点で考察できたか。 c: 身近な商品が世界規模の産業構造の中に位置づけられることを意欲的に探究できたか。産業が発達し続けていることを，時事的話題とともに意欲的に捉えようとしたか。	考査 課題 リアクション ペーパー	考査 課題 リアクション ペーパー	発表 課題 リアクション ペーパー
前期期末考査まで	地球的課題と国際協力	■　地球環境問題 ■　地域開発 ■　資源･エネルギー問題	a: 持続可能な社会を目指すSDGsの目標と趣旨を理解できたか。国際機関のウェブサイトや主題図，統計資料などから，環境問題・資源･エネルギー問題の現状や原因を情報収集できたか。環境問題・資源･エネルギー問題の現状を捉え，原因や影響を図解して整理できたか。 b: 世界のどこで，どのような地球環境問題・資源･エネルギー問題が生じているのかを資料をもとにまとめ，持続可能な社会の実現に向けた提案ができたか。SDGsの目標をふまえ，海や陸の豊かさを守るための国際的な取り組みや具体的な対策を提言できたか。 c: 地球環境問題・資源･エネルギー問題のしくみや原因の理解とともに，地球市民の一人として，それらの問題が人々の生活に与える影響について意欲的に探究し，どのような行動ができるかを追究できたか。	考査 課題 リアクション ペーパー	考査 課題 リアクション ペーパー	発表 課題 リアクション ペーパー

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度